平成 25 年度第 4 回足立区環境審議会資料

件 名	足立区一般廃棄物処理基本計画（第 3 次）改定（案）について
所管部課	環境部ごみ減量推進課
事業(結果) の概要	<p>第 3 回環境審議会でご覧いただいた意見・要望を踏まえ、足立区一般廃棄物処理基本計画(第 3 次)改定(案)の策定状況について、以下のとおり報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 名称 足立区一般廃棄物処理基本計画（第 3 次） （別添資料 1 参照） 2 第 3 回環境審議会での主な意見・要望等 （別添資料 2 参照） 3 主な改定のポイント <ol style="list-style-type: none"> (1)新たな時代背景に合わせた一般廃棄物処理基本計画の策定 人口推計や事業者の動向など新たな時代背景に合わせたごみ減量等の数値目標を設定する。 (2)ごみの減量に向けた普及啓発活動の推進 ごみ減量施策等の「見える化」の実施や処理施設の見学会を行うなど、区民意識の向上を図り、ごみの発生を抑制する。 (3)事業系ごみの減量と適正処理の徹底 事業者台帳の整備を行い、事業者に対する適正排出、適正管理及び資源化に関する指導を強化していく。 (4)資源化の推進 再生可能な資源を分別回収し再資源化するため、費用対効果を踏まえ、新たな品目の資源化を推進する。 (5)協働による廃棄物処理 集団回収活動支援事業の拡充による課題の整理・検討を行い、効率的な資源回収を図る。 4 今後の手続き予定 第 4 回環境審議会でご覧いただいた意見・要望を踏まえ、3 月 26 日開催予定の第 5 回環境審議会でご覧いただいた最終案を確定し、区長に答申する。

平成 25 年度第 4 回足立区環境審議会資料

件 名	「あだち環境かるた」のリニューアルについて
所管部課	環境部環境政策課
事業(結果) の概要	<p>子どもたちに環境を意識してもらうため作成している「あだち環境かるた」をリニューアルしたので報告する。</p> <p>1 リニューアルの背景 「あだち環境かるた」を作成した平成 20 年度から 5 年が経過し、また、東日本大震災などにより社会情勢や環境意識が変化していることから、読み札、絵札をリニューアルした。なお、現行のかるたと区別するため、リニューアル後の名称は「あだち環境かるた 2」とした。</p> <p>2 読み札の募集・選考方法等 ア 対象 小学生 イ 募集内容 環境を題材に、五・七・五調で募集 ウ 選考方法 小学校各研究部(国語科、理科、生活科・総合、家庭科)から推薦の教諭(4名)による審査 (採用作品は次ページ参照) エ スケジュール 平成 25 年 7 月 読み札募集 11 月 採用作品 44 句決定、読み札作成委託 平成 26 年 1 月下旬 「あだち環境かるた 2」完成</p> <p>3 応募の状況 応募総数 13,410 点、応募者 6,296 名、応募学校 66 校</p> <p>4 配布・販売 ア 区内の小学校・保育園・幼稚園・住区センター等に配布 (約 2,770 セット) イ 区政情報課窓口にて販売(500 セット)</p> <p>5 表彰等 1 月 26 日(日)に実施する「第 6 回あだち環境かるた大会」に先立ち、応募作品が読み札に採用された児童への表彰を実施する。 なお、「第 6 回あだち環境かるた大会」では、現行のかるたを使用し、「あだち環境かるた 2」は次回から使用する。</p>

「あだち環境かるた2」読み札一覧

文字	読み札	応募した児童の学年
あ	足立区は 笑顔いっぱい 花いっぱい	1
い	いらないの？ まだ使えるよ 使おうよ	1
う	打ち水で 地球も人も すずしいな	1
え	えん筆は 森の素敵な おくり物	1
お	お買物 カギに財布に エコバッグ	1
か	かんやピン さっと洗って リサイクル	2
き	給食を 残さず食べて ゴミ減らす	2
く	車より 歩いていこう 近くなら	2
け	消しゴムは 小さくなるまで 使おうね	2
こ	ごみ拾い みんなでやれば まちきれい	2
さ	再利用 みんなの意識 大切に	3
し	知らんぷり それが地球を こわしていく	3
す	すずしいな 葉っぱのカーテン 風を呼ぶ	3
せ	節電は 指一本で 出来ること	3
そ	ソーラーで 発電節電 いい暮らし	3
た	ためになる 昔の知えで エコライフ	4
ち	小さくて 着れない洋服 リサイクル	4
つ	使い切ろう まだ残ってる そのノート	4
て	テレビ消し 家族と会話 毎日ね	4
と	とんぼ飛ぶ きれいな足立 土手の空	4
な	なくしたら もどってこない 自然たち	4
に	苦手でも もぐもぐむしゃむしゃ 食べ切ろう	4
ぬ	ぬい直す 破れた洋服 元通り	4
ね	ねえいいの じゃ口の水が 出っぱなし	4
の	残り水 草木にあげて 節水を	4
は	歯ブラシは そうじに使える 捨てないで	5
ひ	ひと部屋に 家族集まり 節電だ	5
ふ	不要です。 「持ってきました。マイバッグ」	5
へ	減らそうよ 地球が苦しむ CO2	5
ほ	ぼくたちは 地球を守る エコレンジャー	5

文字	読み札	応募した児童の学年
ま	守ろうよ リユース リデュース リサイクル	5
み	未来にも 限りある資源 つなげよう	5
む	無だづかい 電気を消そう 居ない部屋	5
め	メーターの チェックで始まる エコ作戦	5
も	燃やすごみ 減らして守ろう 青い空	5
や	野菜くず 使って出来たよ もう一品	6
ゆ	夢いっぱい リサイクルをし 新発明	6
よ	よしずかけ みんなですずしく 節電だ	6
ら	ランドセル 第二の命 海をこえ	6
り	リサイクル ボトルのふたは ワクチンに	6
る	ルールだよ ゴミは捨てずに 持ち帰る	6
れ	冷蔵庫 開けたらすぐに 閉めようよ	6
ろ	ろう費せず 節約しよう エネルギー	6
わ	輪になって 地球の未来を 守ろうよ	6

平成 25 年度第 4 回足立区環境審議会資料

件 名	省エネ法及び都環境確保条例に基づく報告書と計画書の提出について																																														
所管部課	資産管理部庁舎管理課																																														
事業 (結果)の 概要	<p>省エネ法による報告数値および都環境確保条例による報告数値が、国と都の審査の結果、確定したので報告する。</p>																																														
	<p>1 省エネ法による定期報告書・中長期計画書の提出 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)では、事業者単位(区長部局と教育委員会)で所管する施設の年度ごとのエネルギー使用量を原油換算し、対前年度比 1%削減の努力義務が課されている。</p>																																														
	<p>(1)定期報告書 平成 24 年度実績と対前年度比較及び過去の実績と対前年度比較</p>																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">区長部局()内は本庁舎</th> <th colspan="2">教育委員会</th> <th colspan="2">足立区合計</th> </tr> <tr> <th>原油換算(kℓ)</th> <th>対前年度比</th> <th>原油換算(kℓ)</th> <th>前年度比</th> <th>原油換算(kℓ)</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>7,727(2,793)</td> <td></td> <td>11,383</td> <td></td> <td>19,110</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>8,092(2,865)</td> <td>4.7(2.6)%</td> <td>11,976</td> <td>5.2%</td> <td>20,068</td> <td>5.0%</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>8,446(2,644)</td> <td>4.4(-7.7)%</td> <td>8,078</td> <td>-32.5%</td> <td>16,524</td> <td>-17.7%</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>8,904(2,655)</td> <td>5.4(0.4)%</td> <td>8,250</td> <td>2.1%</td> <td>17,154</td> <td>3.8%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	区長部局()内は本庁舎		教育委員会		足立区合計		原油換算(kℓ)	対前年度比	原油換算(kℓ)	前年度比	原油換算(kℓ)	前年度比	21	7,727(2,793)		11,383		19,110		22	8,092(2,865)	4.7(2.6)%	11,976	5.2%	20,068	5.0%	23	8,446(2,644)	4.4(-7.7)%	8,078	-32.5%	16,524	-17.7%	24	8,904(2,655)	5.4(0.4)%	8,250	2.1%	17,154	3.8%
	年度	区長部局()内は本庁舎		教育委員会		足立区合計																																									
		原油換算(kℓ)	対前年度比	原油換算(kℓ)	前年度比	原油換算(kℓ)	前年度比																																								
21	7,727(2,793)		11,383		19,110																																										
22	8,092(2,865)	4.7(2.6)%	11,976	5.2%	20,068	5.0%																																									
23	8,446(2,644)	4.4(-7.7)%	8,078	-32.5%	16,524	-17.7%																																									
24	8,904(2,655)	5.4(0.4)%	8,250	2.1%	17,154	3.8%																																									
<p>23 年度は、東日本大震災後の節電対策により施設の一部を閉鎖するなど利用を停止していたため 22 年度に比べ大幅な減となった。 24 年度は、照明の間引きなどの節電を継続していたが、施設を通常に開設したこともあり、23 年度に比べ区全体で 3.8%の増加となった。</p>																																															
<p>(2)中長期計画書 今年度以降は東日本大震災以降の職員の節電行動による削減、中期財政計画に基づいた改修計画を進めていくことで削減目標が達成できる見込みである。</p>																																															
<p>2 都環境確保条例による地球温暖化対策計画書・報告書提出書の提出 「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」(都環境確保条例)では、本庁舎の CO₂ 排出総量を平成 22 年から 26 年までの 5 年間で、基準排出量(平成 16 年から 18 年までの平均値 5,068t)から 8%削減する義務が課されるとともに、事業者単位で地球温暖化対策報告書の提出義務も課されている。 なお、制度の実効性を確保するため、削減義務が未達成の場合は、東京都から不足量の 1.3 倍の削減措置命令が出され、この命令に従わないとき</p>																																															

は罰金 50 万円が課され、違反事実が公表される。

(1) 本庁舎の 24 年度実績と排出上限量との比較

単位：(t)	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	5 年計
排出上限量	4,663	4,663	4,663	4,663	4,663	23,315
実績排出量	4,471	4,158	4,255	-	-	-

「排出上限量」は「基準排出量」5,068 t の 8%削減値

(2) 区長部局(本庁舎除く)と教育委員会の 24 年度実績と対前年度比較

【原油換算エネルギー使用量】

年度	区長部局		教育委員会		合 計		
	施設	原油換算 (kℓ)	施設	原油換算 (kℓ)	施設	原油換算 (kℓ)	対前年度比
21	23	1,575	129	10,378	152	11,953	
22	24	1,723	128	10,960	152	12,683	6.1%
23	33	3,666	111	6,721	144	10,387	-18.1%
24	34	3,970	111	6,883	145	10,853	4.5%

【温室効果ガス排出量(参考)】

年度	区長部局	教育委員会	合 計	
	CO ₂ 排出量(t)	CO ₂ 排出量(t)	CO ₂ 排出量(t)	対前年度比
21	2,591	17,415	20,006	
22	2,842	18,390	21,232	6.1%
23	5,985	11,626	17,611	-17.1%
24	6,456	11,849	18,305	3.9%

環境確保条例では、エネルギー使用量が原油換算で年 30kℓ以上の施設のみが報告対象であるため、省エネ法における数値よりも少ない。

3 今後の方針

大震災後 2 年 6 か月が経過し節電意識が希薄になってきているが、今後も足立区節電計画に基づいた持続可能な節電に努める。

第3回環境審議会での主な意見・要望等

別添資料2

項目	発言要旨	反映結果	ページ数
<p>第4章 ごみの減量と資源化の推進 4-3 環境負荷を抑えた適正な廃棄物処理 (1) ごみ施策の「見える化」の実施</p>	<p>「ごみ処理経費」について、トンやキロリットル単位でのみの表示ではなく、もっと身近に感じるような経費で記載して欲しい。</p>	<p>新たにごみ処理経費の削減目標を記載し、区民1世帯当り・区民1人あたりの経費を記載した。</p>	<p>P13・P44</p>
<p>4-1 3Rを基にした資源循環とごみの減量への取り組みの推進 (3) リサイクルやごみ問題に関する意識啓発</p>	<p>ごみ処理施設やコストの話も含めて、区民の方が学べるような機会を作って欲しい。</p>	<p>新たに重点取り組み項目として、定期的な処理施設の見学会や意見交換会等の開催について記載した。</p>	<p>P9</p>
<p>4-1 3Rを基にした資源循環とごみの減量への取り組みの推進 (4) 小中学校における環境学習の充実</p>	<p>環境教育や環境学習の一環で、社会科見学のような形で、ごみについて考えられる場等を設定して欲しい。</p>	<p>新たに重点取り組み項目として、ペットボトルキャップを資源化する際の過程を活用した事業等を記載した。</p>	<p>P10</p>
<p>4-2 適正な分別排出の周知徹底とより一層の資源化の推進 (7) 家庭ごみと資源の分別の徹底に向けた取り組み</p>	<p>ごみを減らすという意識改革の中で、家庭ごみから出るごみの中で、特に紙ごみについて資源化できるもの等、もっとPRして欲しい。</p>	<p>新たに、燃やすごみに含まれる資源化可能物の割合を目標値に入れた。また、重点取り組み項目としてPR方法について記載した。</p>	<p>P9・P12</p>
<p>4-2 適正な分別排出の周知徹底とより一層の資源化の推進 (1) 不法投棄対策の強化による生活環境の向上</p>	<p>不法投棄対策等についても、しっかりとやってもらいたい。</p>	<p>新たに重点取り組み項目として、不法投棄対策について記載した。</p>	<p>P11・P12</p>
<p>4-1 3Rを基にした資源循環とごみの減量への取り組みの推進 (6) 新たな資源化品目と粗大ごみのリユースの検討</p>	<p>インターネット等を活用し、粗大ごみの再利用について検討して欲しい。</p>	<p>民間事業者やインターネットを活用した粗大ごみのリユースに関する記載した。</p>	<p>P11</p>